結成20周年
新たな大躍進に向け出発！

日刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）
電話 （鉄電） 千葉 2935・2939番
（公） 043（222）7207番

99.10.13 No. 5030

JR総連会長・革マル松崎は
「日の丸労働運動」の推進者だ！

東労組の正体を暴く②

JR総連革マルはこの間、新ガイドライン関連法の成立過程や「国旗・国家」法案審議過程では、現場の青年部などを中心にして動員し、戦争や「日の丸・君が代」に反対する「姿勢」をとってきた。

しかし、JR総連現会長であり旧動労の委員長であった革マル・松崎明は、「日の丸労働運動」を進めることを公言してきた人物であることを改めてはっきりさせなければならない。

勝共連合機関紙で「日の丸・君が代」推進を公言

分割・民営化を目前に控えた一九八七年二月、当時の動労委員長であった革マル・松崎明は、勝共連合の機関紙である『世界日報』の中で、**①原発の必要性を認める。安保・自衛隊に前向きに取り組む、②「東洋の思想」＝天皇制を賛美し、マルクス・レーニン主義と決別する、③スト権を付与される新会社ではストをさせない。これが私の使命だ、④社会党と縁を切り、自民党を支持する、**として労働者の側から完全に自民党や右翼の側に転向したことを公言した。

そして今度は、分割・民営化直後の八七年七月、またしても『世界日報』に登場し、今度は**「ヨーロッパやアメリカに行くと、組合の委員長室に必ず国旗があるが、なぜ日本にはないんだ。おかしいじゃないか」と発言し、「国旗＝『日の丸』を掲げないのはおかしい」**と公然と言い放つにいたったのである。

勝共連合は右翼・ファシスト集団

そもそも「勝共連合」とはどういう組織なのか。勝共連合とは、「統一協会」（世界基督教統一神霊協会）の外郭団体であり、あの悪名高い“霊感商法”という詐欺まがいの悪徳商法で資金を稼ぎ、日本の支配者階級の各分野で右翼化を狙う組織だということだ。

そういう組織である以上、労働組合を名乗る者が登場するなど到底あり得ないのだ。

しかも、先の第二次大戦で日本人三〇〇万人、アジア人民五〇〇〇万といわれる人たちを虐殺してきた天皇制とその旗印である「日の丸」を認めることなど、どうしてできるだろうか。

しかし、当時の首相・中曽根による国鉄分割・民営化攻撃の中で、労働者の側から支配階級＝自民党や勝共連合の側に転向しなければ生き残れないことを実感し、これを具体的に行動であらわしたのが「世界日報」での「日の丸労働運動」発言だったのだ。

こうしたことを考え合わせると、現在JR総連革マルが行っている「反戦運動」とはどういうことなのかということだ。JRとの結託体制を維持するためには国労や動労千葉の解体に躍起になりながら、一方では青年部を中心にしながら「反戦運動」を行うという、全く矛盾したことを行っているのだ。

今「ガイドライン体制下の労働運動」という状況の中で、周辺事態法により有事の際には鉄道で軍事物資を運ぶことが強制されようとしている。こうした時に、動労千葉が第二七回定期大会で「戦争協力拒否宣言」を発したように軍事物資の輸送など一切の戦争協力を拒否して闘うのか、一方、革マル・松崎のように「日の丸労働運動」の下で武器・弾薬を乗せて列車を運転するのかが問われているのだ。

労働者のとるべき道は、一切の戦争協力を拒否し、戦争への道を阻止する。この一点にかかっているのだ。JR総連革マル・松崎の言う「日の丸労働運動」は、労働者を戦争に動員する道以外のなにものでもない。

JR総連革マルを打倒し、戦争への道を阻止しよう！国鉄闘争の勝利をかちとろう！

87年2月20日 松崎明と秦野章元警視総監のテレビ対談（日本TV）

昭和62年（1987年）7月14日（火曜日）

世界日報

日の丸掲揚に前向き

生産性向上に動労努力

スト自粛・労使協力を堅持

鉄道労使の今後の路線につい

最大の使命は会社の公約を果たすことだと思います。ですからイデオロギーでどうとかこうとか、バカバカしいことはいっさい自分の所ではないです。

東京地方の各組合のみなさんと話したんですが、ヨーロッパとかアメリカに行くと、組合の委員長室に必ず国旗があるが、なぜ日本にはないんだ。おかしいじゃないか。つまり労働運動がやたらと革新革新と言いますけれども、国旗を掲げないのが革新なのかと、会社の旗も掲げてないんですよね。やっぱりおかしいねと、そのあたりを、だけど、そこまでいかないとね、JRというのは非常にみっともないものになっちゃうんですよ」

JR－JR総連・革マル結託体制打倒